【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2012-255269(P2012-255269A)
【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)
【年通号数】公開・登録公報2012-055
【出願番号】特願2011-127976(P2011-127976)
【国際特許分類】
Ｅ０４Ｈ　　9/02　　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０４Ｈ　　9/02　　　３２１Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月20日(2014.5.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水硬性無機質結合剤と、合成高分子製の発泡ビーズ群（以下「発泡ビーズ粒体」）とを、他の副資材とともに混合してなるスラリー組成物の硬化成形体から形成される耐震スリット材であって、
前記耐震スリット材の圧縮試験（「独立行政法人都市再生機構」制定の「機材の品質判定基準（平成20年5月版）；スリット材の性能試験方法」：以下同じ。）の変形復帰性が８３％以上であり、
前記硬化成形体中の前記発泡ビーズ粒体の配合量が、前記水硬性無機質結合剤１００質量部に対して発泡ビーズ粒体が５～２５質量部であり、
前記発泡ビーズ粒体の密度が0.015～0.027ｇ／ｃｍ^{3}であり、
前記副資材が、繊維状強化材を含む、
ことを特徴とする耐震スリット材。
【請求項２】
前記発泡ビーズ粒体が、一置換エチレンモノマー重合体（ビーズ重合体）、一置換エチレンモノマーをゴム系重合体に対してグラフトさせた重合体のいずれかから1種又は2種以上選択されることを特徴とする請求項１記載の耐震スリット材。
【請求項３】
前記発泡ビーズ粒体の重合体の構成単位である一置換エチレンモノマーがスチレン又はプロピレンであることを特徴とする請求項２記載の耐震スリット材。
【請求項４】
前記発泡ビーズ粒体の平均粒径（呼び径篩（JIS篩に準じる。）：算術平均）が１～１０ｍｍであることを特徴とする請求項１、２又は３記載の耐震スリット材。
【請求項５】
前記発泡ビーズ粒体が、結合性合成樹脂の分散液で表面処理されていることを特徴とする請求項１～４のいずれか一記載の耐震スリット材。
【請求項６】
前記結合性合成樹脂の分散液がアクリル樹脂系エマルションであることを特徴とする請求項５記載の耐震スリット材。
【請求項７】

前記スラリー組成物の副資材が、平均粒子径（JIS呼び径篩：算術平均）が１０～２００μｍの中空樹脂微粒子の集合体（中空樹脂微粒体）を含むことを特徴とする請求項１～６のいずれか一記載の耐震スリット材。

【請求項８】

前記硬化成形体が、無数の相互に連通する粒状空隙からなる粒状空隙群を含有することを特徴とする請求項１～７のいずれか一記載の耐震スリット材。